

2022 年度
法学部
新入生アンケート結果

実施日時：2022 年 4 月 5 日（金）

実施場所：511 講義室

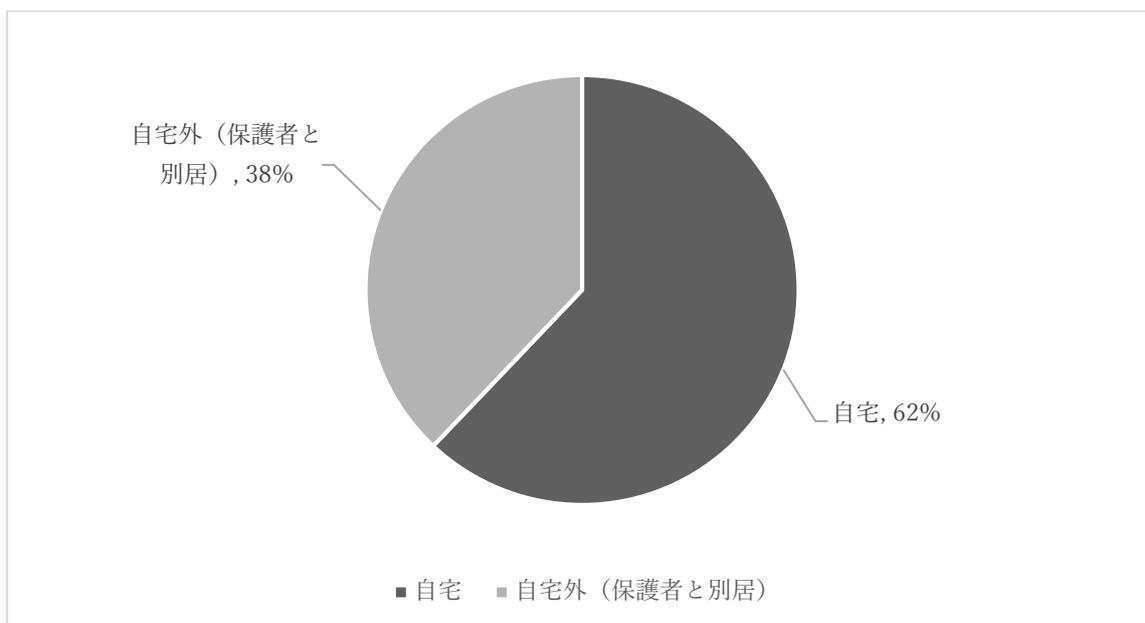
対象人数：2022 年度法学部新入生 58 名

回収数（率）：58 名（100%）

【集計結果一覧】 (№1 は回答者の学籍番号)

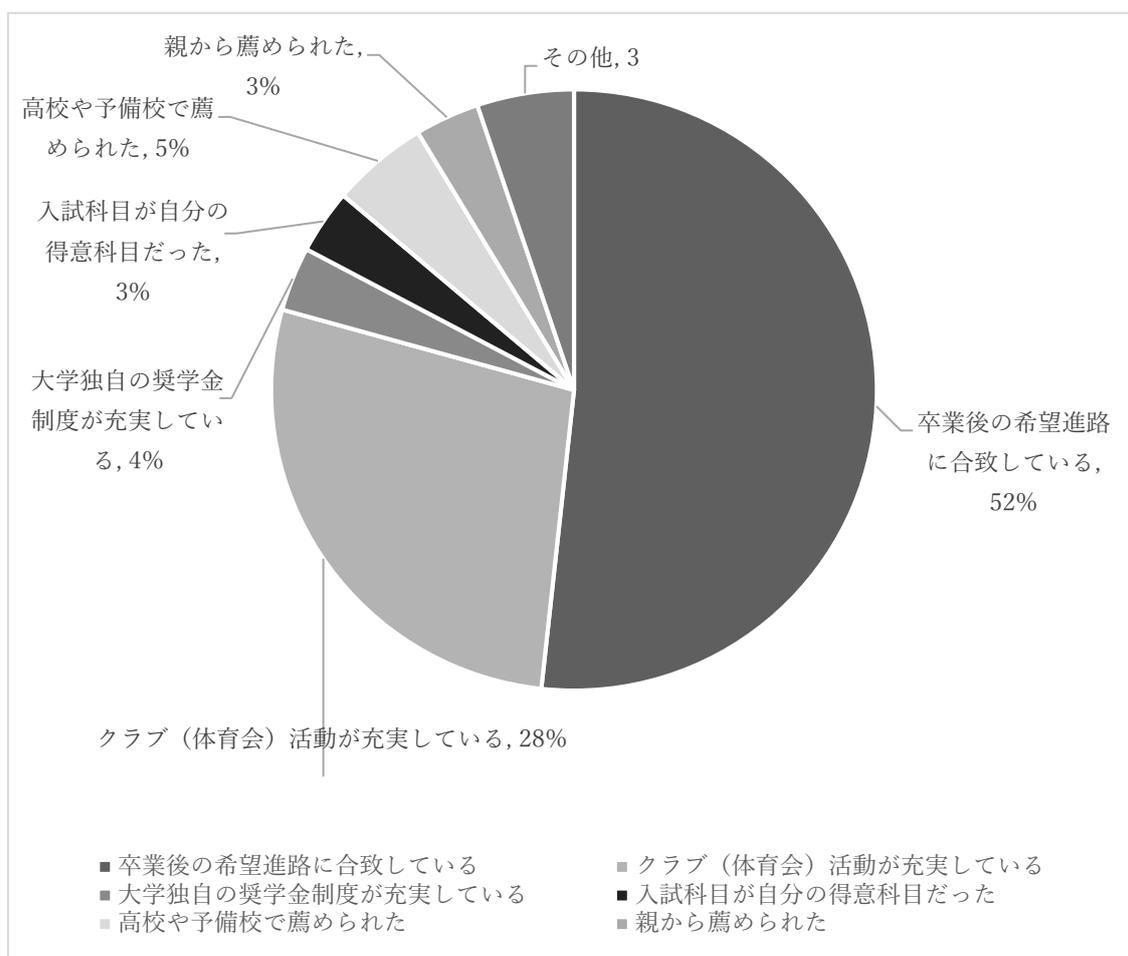
№2 住居。

1	自宅	36	62%
2	自宅外(保護者と別居)	22	38%
	無回答	0	0%
	計	58	100%



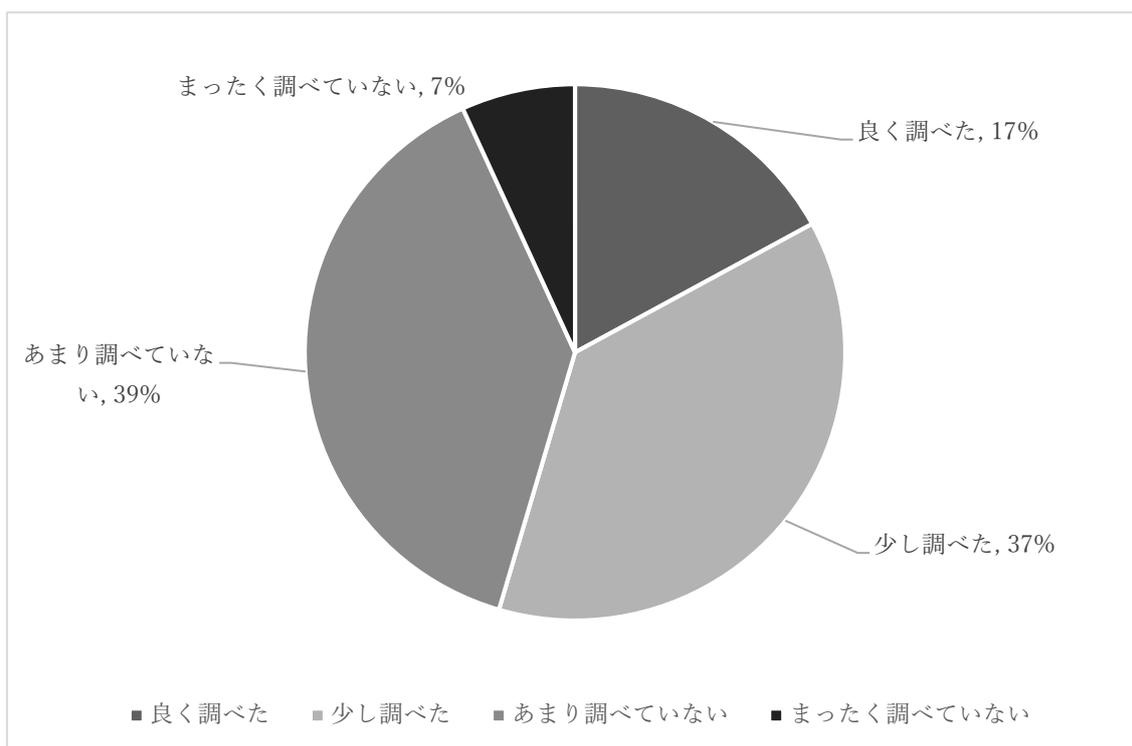
№3 朝日大学への入学を決めた理由は何ですか。

1	卒業後の希望進路に合致している	30	52%
2	クラブ（体育会）活動が充実している	16	28%
3	授業を受けてみたい教員が所属している	0	0%
4	キャンパスの設備や雰囲気が良い	0	0%
5	スクールバスがあって通学しやすい	0	0%
6	大学独自の奨学金制度が充実している	2	3%
7	入試科目が自分の得意科目だった	2	3%
8	高校や予備校で薦められた	3	5%
9	親から薦められた	2	3%
10	その他	3	5%
	その他：家から近い、県内唯一の法学部だから、人生リセット		
	無回答	0	0%
	計	58	100%



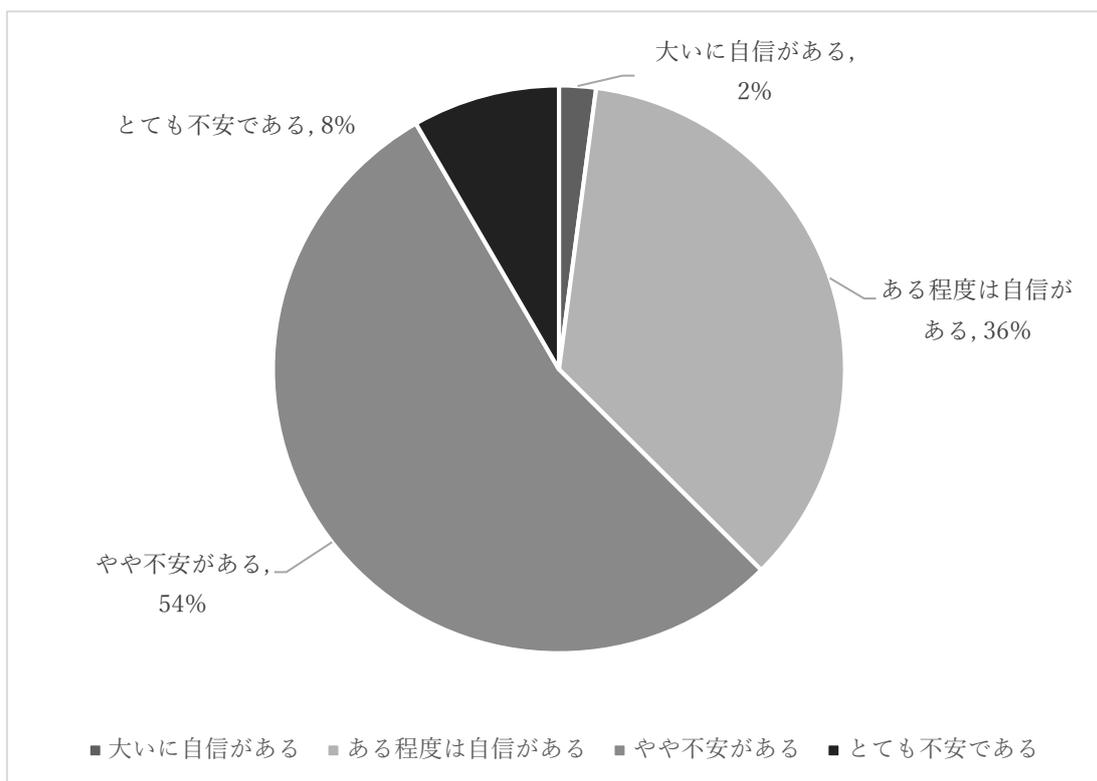
No.4 本学法学部について調べてみましたか。

1	良く調べた	15	17%
2	少し調べた	33	37%
3	あまり調べていない	34	39%
4	まったく調べていない	6	7%
	無回答	0	0%
	計	58	100%



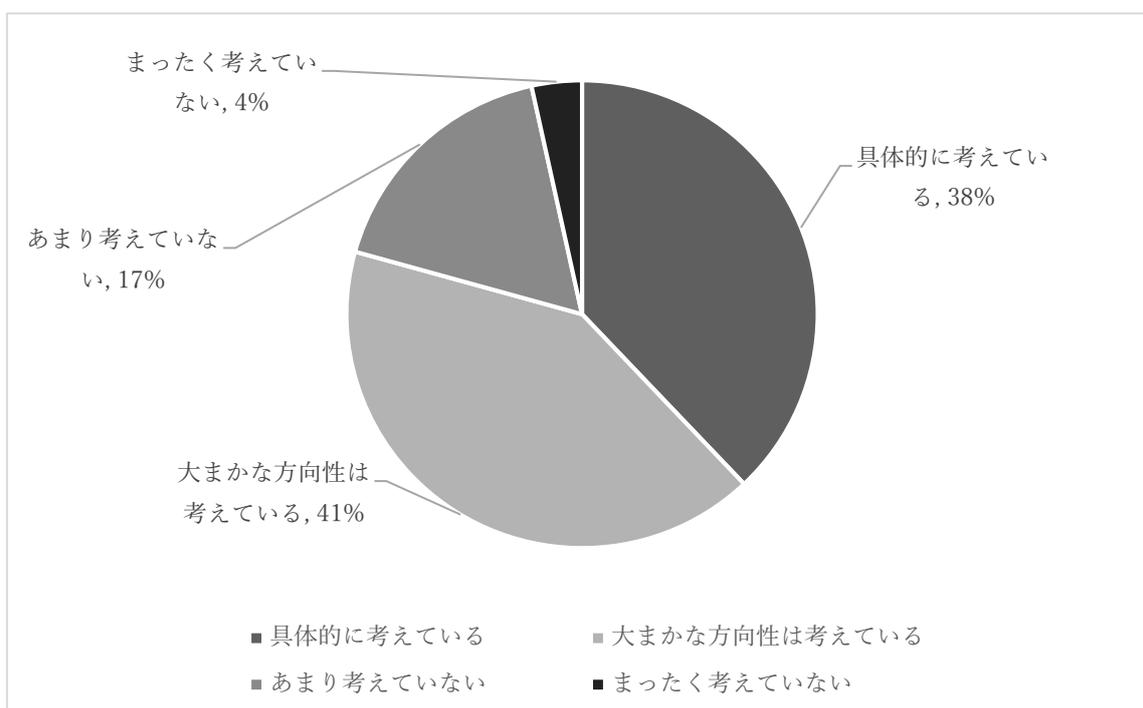
No.5 本学法学部での学習について自信がありますか。

1	大いに自身がある	1	2%
2	ある程度は自身がある	17	36%
3	やや不安である	26	54%
4	とても不安である	4	8%
	無回答	0	0%
	計	58	100%



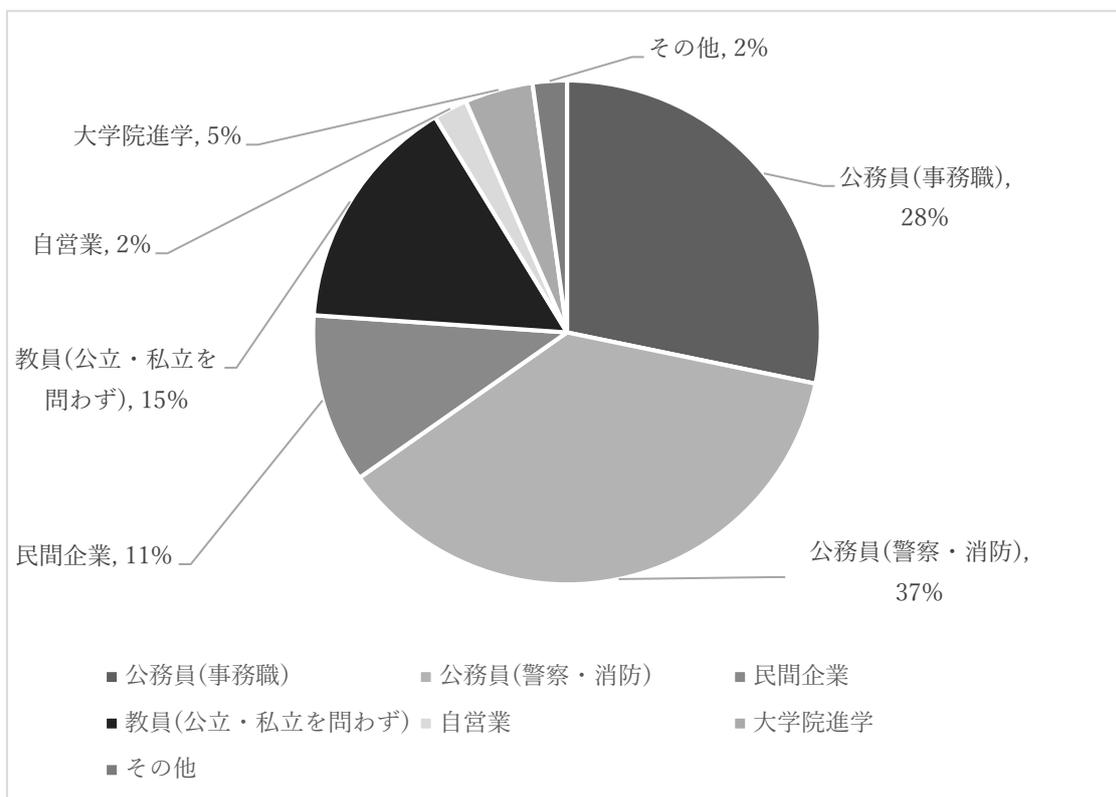
No.6-a 卒業後の希望進路は考えていますか。

1	具体的に考えている	22	38%
2	大まかな方向性は考えている	24	41%
3	あまり考えていない	10	17%
4	まったく考えていない	2	4%
	無回答	0	0%
	計	58	100%



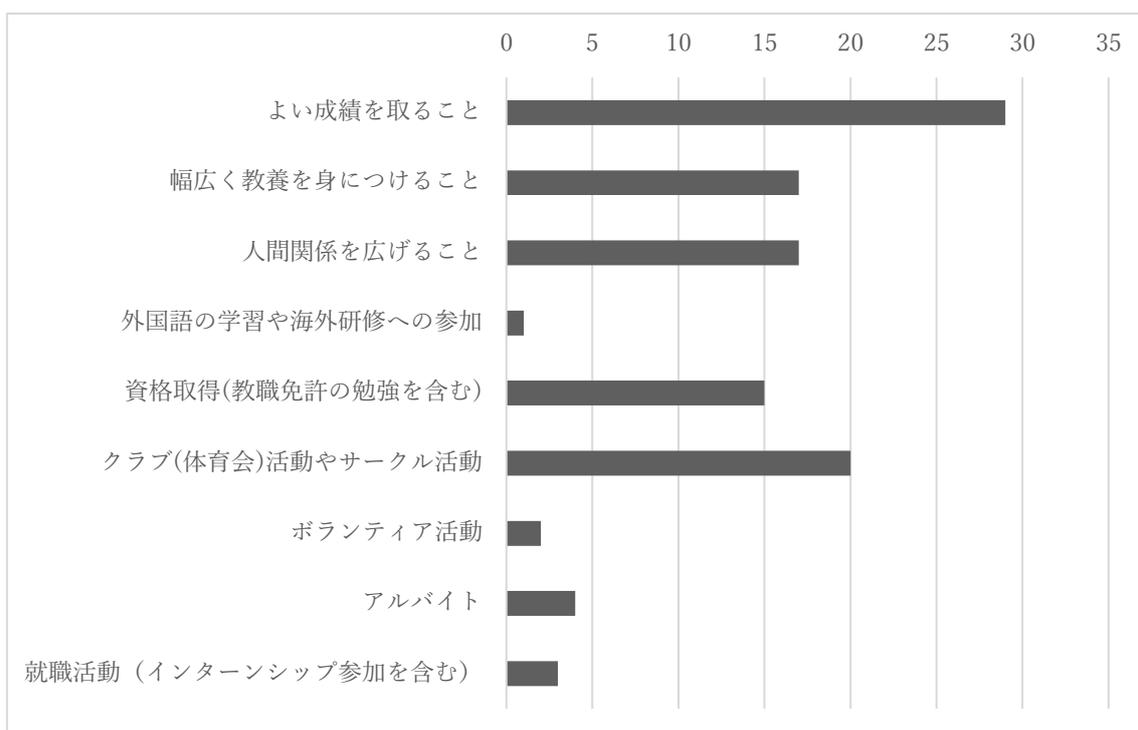
No.6-b 「⑦-a で 1 または 2 を選んだ人のみ」以下の選択肢の中から、現時点での希望進路に最も近いと思われるものを選択してください。

1	公務員(事務職)	13	28%
2	公務員(警察・消防)	17	37%
3	民間企業	5	11%
4	教員(公立・私立を問わず)	7	15%
5	自営業	1	2%
6	大学院進学	2	5%
7	その他	1	2%
	その他：司法書士		
	計	46	100%



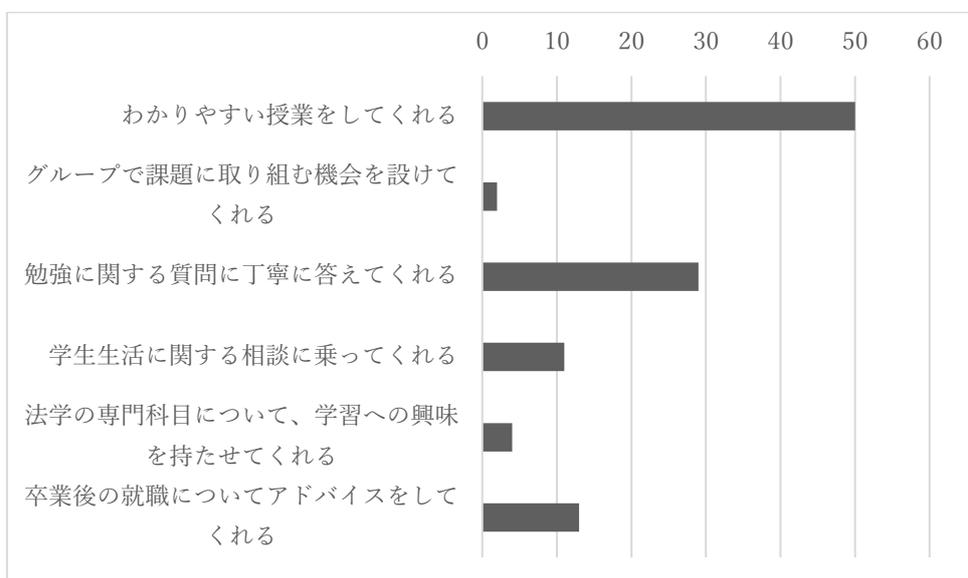
No.7 大学生生活で特に力を入れていきたいものは何ですか(複数回答)。

1	よい成績を取ること	29	26%
2	幅広く教養を身につけること	17	16%
3	人間関係を広げること	17	16%
4	外国語の学習や海外研修への参加	1	1%
5	資格取得(教職免許の勉強を含む)	15	14%
6	クラブ(体育会)活動やサークル活動	20	18%
7	ボランティア活動	2	2%
8	アルバイト	4	4%
9	就職活動(インターンシップ参加を含む)	3	3%
10	その他	0	0%
	計	108	100%



No.8 教員に特に期待することは何ですか(複数回答)。

1	わかりやすい授業をしてくれる	50	46%
2	外国語の学習や海外研修についてアドバイスをしてくれる	0	0%
3	グループで課題に取り組む機会を設けてくれる	2	2%
4	勉強に関する質問に丁寧に答えてくれる	29	26%
5	学生生活に関する相談に乗ってくれる	11	10%
6	法学の専門科目について、学習への興味を持たせてくれる	4	4%
7	卒業後の就職についてアドバイスをしてくれる	13	12%
8	その他	0	0%
	計	109	100%



No.9 自由記載。

- ・ 先生方の雰囲気優しく、楽しいです。これからよろしくお願いします！
- ・ 充実した大学生活が遅れそうで楽しみです。
- ・ 講義がんばります！
- ・ 警察官になれるように頑張ります。
- ・ 部活と勉強の両立ができるように頑張る。
- ・ 不安もあるけど頑張りたいと思います。
- ・ 交通の便も良く今のところは充実した学生生活を送れている。
- ・ 勉強についていけるか心配。
- ・ 単位取れるか不安。
- ・ 部活動をしてる人は部活動と勉強両立できてるのか。
- ・ ネットに慣れるまでが不安です。

- ・ 体調管理が不安である。
- ・ 歳が離れているのでうまく馴染めるか。
- ・ わからないことがあったら教えてほしい。
- ・ 授業スタイルの多様化。
- ・ クラブ活動に入ることは必須ですか？

【分析】

教務ガイダンスの際にアンケートを実施したため、回収率は 100%であった(体育会クラスターに伴う濃厚接触者 3 名については、事後に回答)。

具体的なアンケート結果についてであるが、ここ数年、大きな変化はみられないが、今年度も大きく定員割れを起こしているため、アンケート結果を子細に分析し、今後の対応を講じる必要があると考えられる。

特徴的な点として、問 6-a「卒業後の希望進路」については、「具体的に考えている」、あるいは「大まかな方向性は考えている」が約 8 割を占め、問 3 の入学を決めた理由において、「卒業後の希望進路に合致している」が約 5 割を占めている点からも、明確な目標をもって法学部を選択していることが窺われる。具体的進路については、問 6-b において、公務員(公安職)が全体の約 4 割弱、公務員(事務職)が約 3 割弱であり、この点に応える教育を施し、結果を出していくことが今後の学生募集にとっても重要であろう。同問において、新入生の時点では、教員希望が 1 割半ほど存在するが、学年が上がるにつれ、離脱者が増える傾向にある。元々、教職に就くことが明確な目標でないことが影響しているものと推測される。

なお、ここ近年、問 8 において、「わかりやすい授業をしてくれる」の選択率が非常に高く、次いで「勉強に関する質問に丁寧に答えてくれる」が続いている。具体的に新入生が求める「わかりやすい授業」とは如何なるものであるかをリサーチする必要があるが、レベルを下げず、高度な講義を展開するためには、FD 委員会等を積極的に開催し、学生のニーズに応える講義内容を検討していくことが重要であると思われる。但し、問 4「本学法学部について調べたか」につき、「あまり調べていない」の割合が高く、また、問 7「大学生活で特に力を入れていきたいもの」の回答において、スポーツ推薦の学生が、「クラブ(体育会)活動やサークル活動」を第 1 に選択する者の割合がやや減少してきている点については、今年度に限ったものであるか否か、それぞれ注視する必要がある。